様式３(2020.06改)

作成日　令和4 年　3月　　10日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2390100135
事業所名	グループホームめぐらす香流

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
	地域民生委員2名とは、直接会って話をして地域の情報収集や運営への理解を深め、信頼関係や協働関係を深めている。 日常の散歩や、ホーム外周の清掃活動、玄関先の花壇整備により通りがかりの近隣住民と挨拶や会話を交わす等の交流関係を継続している。 電話での介護相談や入居の問い合わには、その都度状況に見合ったアドバイスをして認知症専門知識を活かし貢献している。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	運営推進会議は年6回定期的に開催しコロナ感染対策で職員、利用者で実施をしている。会議では事業報告や活動内容をパソコンを使用し、写真を見せ周知している。また利用者全員の意見や要望を聴く仕組みを整え、職員間で検討しサービス向上に努めている。 包括職員、民生委員等、推進会構成メンバーへの議事録提出が出来ておらず、文書での周知や意見集約等の実施、協働関係の構築が求められる。	×
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	区担当窓口には、事業関連書類の提出等で直接出向き顔なじみの関係を築いている。市町村主催の研修の案内が郵送やFAXで届き、介護ネット等を活用して事業関連の情報を収集している。今年度はオンラインでの現任研修の参加があった。 いきいき支援センターからは、地域のお寺が実施するカフェの案内が届く等の良好な関係を築いている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	意見箱の設置やお客様アンケートを実施し、利用者や家族の意見や要望を受け止める取り組みをしている。 日常の様子を写真付きの推進会議議事録を送付して生活ぶりを伝え、運営の理解や信頼関係を深めている。 事業所独自でコロナ感染対策のラインを立て、状況に応じて面会を実施して利用者や家族の関係が途切れない様に支援している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	○
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	×
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		×

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	―	―	―	―	×	×	○	―	―	―	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	×	×									